

教育課題に関する「グループ研究発表」を行いました（1・2年）

教育創造コースの1・2年生は、昨年の1学期からそれぞれの学級内でグループを編成し、文献調査を始め、11月下旬からはインタビュー活動等始めるなど、教育課題に関するグループ研究を進めてきました。

令和5年1月27日に1年生がその成果の研究発表を、2年生が中間発表を行い、それぞれ最後に香川大学教育学部小方朋子教授からご講評をいただきました。

◆◆◆ 1年生の発表の様子 ◆◆◆

教育創造コース1年生の研究テーマ

班	テーマ
1	小1プロブレム
2	学校制服の意味
3	教育方針と現場とのギャップ
4	教育格差
5	勉強と睡眠の関係
6	日本の教育は適切？不適切？
7	教育に関わる費用
8	不登校に対する社会の問題意識
9	昔と今の教育の違い ～声かけの違いに着目して～
10	読書が幼児に与える影響 ～読書の良い影響 悪い影響～



教育創造コース2年生の研究テーマ

班	テーマ
1	ヤングケアラーに対する意識を改革するには ～現在の体制の考察と見直し～
2	不登校児が将来社会の一員として活躍するには？
3	どうして運動能力に違いが生まれるのか？ ～香川県からアスリートを生み出そう～
4	教室の整備
5	アクティブ・ラーニングは本当に良いのか？ ～生徒に与える影響は？～
6	子ども食堂・飲食店 ～子ども食堂の在り方を多様化することはできるのか？～
7	在日外国人への学習支援 ～誰も取り残さず将来役立つ指導方法～
8	虐待に対して、学校でできる対策は何か？ ～教員から子どもへの虐待を無くすために～
9	数学の授業の沈黙を無くすためには ～数学を数楽(すうがく)に～
10	好奇心を高める授業とはどのようなものか ～宇宙一行きたくなる笑楽校(しょうがっこう)～



2年生は香川大学教育学部の担当教授から班ごとにアドバイスを受けながら、今後も研究を進めます。3年次の4月末に行う発表会が直近の目標です。

研究を進める上では様々な困難に出会うでしょうが、自らの主体性やコミュニケーション能力、チームワークを武器に、数々のハードルを逞しく越えていってください。

